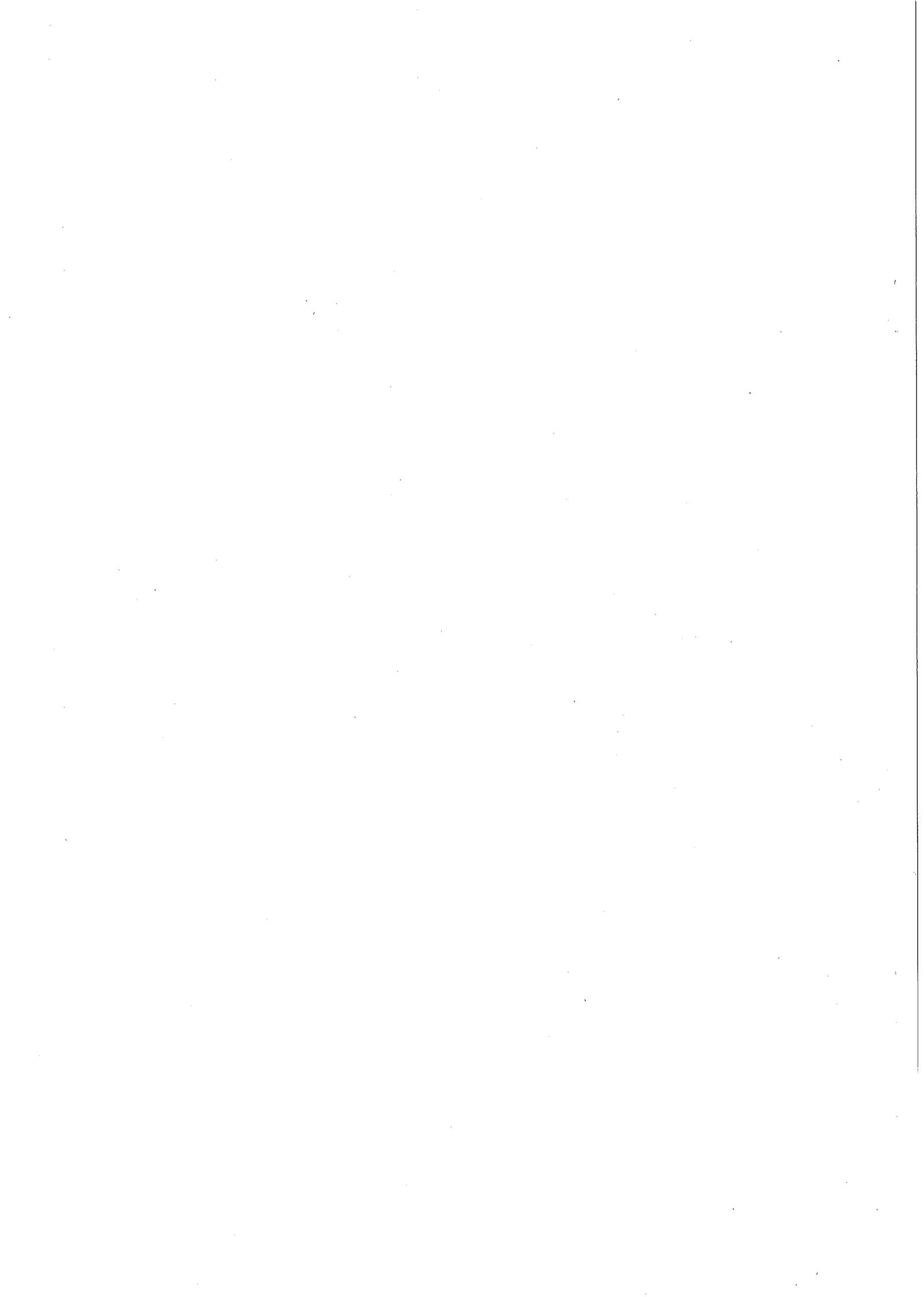


平成 27 年 6 月 11 日開会

# 市議会定例会提案説明

(議案第 65 号～議案第 68 号)

(報告第 15 号)



本日は、平成27年第2回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には何かとご多用の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、先日の臨時会におきましては、新病院建設に係る予算の増額をご承認いただき、誠にありがとうございました。

市といたしましては、桑名市総合医療センターと連携し、一日も早い新病院の建設着手に向けて、全力で取り組んでまいります。

それでは、定例会の開会にあたり、提出いたしました諸案件の説明に先立ちまして、現在の市の情勢等について、申し述べたいと存じます。

まず、景気の動向についてであります。

内閣府が公表した5月の月例経済報告によりますと、景気は、緩やかな回復基調が続いている。また、先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある、としております。

また、雇用面においては、厚生労働省が発表した4月の有効求人倍率(季節調整値)は、三重県では1.27倍と、全国平均1.17倍を上回り、年間を通して比較的安定した状況となっております。

安倍内閣では、これまで、「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」からなる経済対策「アベノミクス」を一体的に推進し、こうした政策の下、経済の好循環を生み出そうとしております。

また、平成27年1月から3月期の実質GDP成長率が、年率換算でプラス2.4%と2四半期連続でプラス成長となり、景気が緩やかな回復基調が続いている中で、個人消費等も底堅い動きとなり、消費者マインドも持ち直しの兆しが見受けられます。

ただし、人口減・高齢化などの中長期的な課題を抱える地方においては、経済の好循環の実現が、十分には進展していない状況であると思われれます。

そのような状況の中、昨年末には、経済の脆弱な部分に的を絞り、かつスピード感をもって対応を行うことで、経済の好循環を確かなものとするとともに、地方にアベノミクスの成果を広く行き渡らせることを目指す「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」の一環として、国による「地域住民生活支援のための交付金」制度がスタートしました。

そのうちの一つ「地域消費喚起・生活支援型」交付金では、本市においては、市内各商工団体様のご協力により、昨日、6月10日に「桑名プレミアム商品券」の販売と利用を同時にスタートし、県内でも先行的な取り組みを開始したところでございます。

商品券の販売により、市内の消費が喚起・拡大され、地域の活性化につながることを期待する次第でございます。

また、「地方創生先行型」におきましては、昨年度、補正予算で前倒しをいたしま

した各種事業とともに、現在、「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定を進めております。

外部有識者で構成いたします「桑名市地方創生会議」の開催など、4月からスタートしました新しい総合計画の基本的な考え方を踏まえながら、本市の特性や強みを活かした今後5年の戦略づくりに努めてまいります。

次に、「ブランド推進」についてであります。

昨年度からスタートしたブランド戦略でございますが、「桑名をまちごとブランドに」するため、本市を全国的にPRし、都市イメージの向上を図るとともに、訪れたい、住みたい、住み続けたいという「選ばれるまち」になることを目指し、さまざまな取り組みを進めてきたところでございます。

特に、東京からの情報発信では、東京PR事務局を立ち上げ、全国に桑名市の情報を発信してまいりました。

この効果といたしましては、新聞、雑誌、WEB等に掲載されたことで、およそ7,000万円の広告換算値があったとされ、桑名の魅力を大いに発信してきたところでございます。

本年度も、昨年度からの継続的な取り組みはもとより、市民の皆様が桑名の良さに気付き、再発見していただくことができるような取り組みを始めていきたいと考えております。

そのような中、去る5月30日には「全国山・鉾・屋台保存連合会総会桑名大会」が、翌31日には、「七里の渡し・伊勢国一の鳥居建て替え奉祝祭（お木曳行事）」が、それぞれ盛大に開催されたところでございます。

特に、お木曳行事には、全国からたくさんの方にお越しいただき、20年に一度の行事を体験、見学していただきました。その後、6月7日には、一の鳥居の竣工式も無事終了し、20年ぶりの建て替えが実現したところでございます。

また、山・鉾・屋台については、平成28年秋のユネスコ世界遺産登録を目指しており、これを契機に、桑名の歴史ある文化を全国、さらには世界に発信していきたいと考えているところでございます。

次に、道路事業等についてであります。

国道1号伊勢大橋の架け替え工事におきましては、早期の架け替えをこれまで国に対して要望をしてきたところであり、いよいよ橋脚部分の工事も着工しようとしております。

国道1号は、長島と桑名を結ぶ、私たちの暮らしに密着した生活道路でもあります。また、橋の架け替えを中心とする桑名東部拡幅事業は、現在抱えている交通渋滞といった問題の解消を図るだけでなく、災害時における避難路の確保、また、観光地や主要都市などへの交通がスムーズになり、地域の活性化、さらには本市の地理的優位性がさらに高まり、まちのブランド力が向上するものと考えております。

本年度は、国の予算も約30億円が確保され、早ければ、本体工事に着手して5年程度で新しい橋が完成すると聞いております。今後の工事の進捗に期待するところであ

ります。

また、国道1号と国道23号を結ぶ本市の主要幹線道路であります、市道江場安永線も本年3月に全線が開通したところであります。

昭和56年度から34年という歳月はかかりましたが、市の東西交通網が強化され、物流や通勤・通学においても、利便性の良さを実感していただけることと思います。

このほか、木曾三川河川堤防の耐震補強工事など、市民の皆様の暮らしの安全・安心を守る事業について、国と協力しながら進めていきたいと考えております。

最後に、「地域包括ケア計画」のスタートについてであります。

本市では、できるだけ多くの市民の皆様が、高齢になっても住み慣れた場所で生き生きと暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、本年3月に「全員参加型で2025年問題を乗り越えるための地域支え合い体制づくり」と題した「桑名市地域包括ケア計画」を策定いたしました。

計画に基づき、本年度から、新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」をスタートさせたほか、認知症対策として「くわな認知症安心ナビ」の作成、「オレンジカフェ」の開催、「認知症初期集中支援チーム」の設置を行い、5月には、桑名医師会内に「在宅医療・介護連携支援センター」を設置していただくなど、さまざまな取り組みを進めているところであります。

消費税率10%への引上げが、平成29年4月に延期されたことに伴い、「社会保障の充実」に充てられる消費税増収分も十分ではない中で、オール桑名で一步一步着実に計画を進めてまいりますので、議員各位のご理解とご協力をお願いする次第でございます。

それでは、今定例会に提案いたしました諸議案につきまして、その概要を順次、ご説明申し上げます。

議案第65号「平成27年度一般会計補正予算（第2号）」について、歳出から主なものをご説明申し上げます。

まず、総務費では、国が推進します社会保障・税番号システムの構築に向けて、番号連携サーバーに、情報項目の追加など機能付加を行うため、国庫補助金を財源として整備しますほか、昨年12月にリニューアルしました「ふるさと納税」について、当初の予想を大幅に超えた寄附が寄せられておりますので、事務量の増加に対応するための費用や昨年度に寄附をいただいた方に、今年度も寄附をしていただけるよう、案内状を送付するための費用を計上いたしました。

このほか、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成の採択を受けた今北町自治会ほか2自治会への助成金を計上いたしました。

民生費では、障害者の方への対応といたしまして、障害者総合相談センターを増設するための費用のほか、昨年度、市内の方から、療育センターへの備品整備のためにご寄附をいただきましたので、同センターの備品購入費を計上いたしました。

衛生費では、資源物回収に伴う自治会協力金を増額しましたほか、リサイクル推進施設の中で、現在、使用していない堆肥施設の取り壊しのための費用を計上いたしました。

消防費では、消防救急デジタル無線整備事業につきまして、適債性を見直し、一般財源から起債へ、また、国庫補助の採択が受けられなかった防災行政無線整備事業について、一般財源への財源更正をそれぞれ行いました。

教育費では、三重県の補助事業の採択を受けた事業などを実施する費用を計上いたしました。

まず、課題解決推進事業として、昨年度に引き続き、多度北小学校において、指導方法や指導体制の研究を実施いたします。

土曜授業推進事業として、全地区で実施しています土曜授業のうち、長島地区の小・中学校を実践校とし、外部講師などを招いて、防災教育を中心に実施いたします。

人権教育推進事業として、星見ヶ丘小学校において、道徳教育に関する研究を推進し、教職員向けの研修会や公開発表会を実施いたします。

学習活動推進事業として、正和中学校区を対象に、子ども支援ネットワークを構築し、課題解決に向けた活動計画を策定し、実践してまいります。

長島輪中図書館において、桑名学をテーマにして、昆虫や植物の生態調査、桑名産もち小麦を利用した料理講座などを実施いたします。

また、このほか、教育用コンピュータ整備事業として、インターネット上の不適切であると思われる映像が、児童・生徒の目に触れることが問題視されておりますことから、フィルタリングを強化するとともに、教職員への研修を実施してまいります。

また、文化財の施設整備費としまして、老朽化により故障がちとなっております六華苑のロビー及び事務室の空調設備の更新を行います。

小学校トイレ改修事業につきましては、国庫補助の採択が受けられなかったため、2校の予定をしておりましたところ、1校のみ実施することとし、財源の更正を行いました。

続きまして、歳入の主なものについて、ご説明申し上げます。

国庫支出金及び県支出金並びに市債につきましては、歳出事業に対する内示の状況等に応じて、所要の額を補正いたしました。

繰入金につきましては、この補正の収支の均衡を図るため、財政調整基金の繰入額を整理いたしました。

次に、議案第66号「桑名市市税条例の一部改正」につきましては、地方税法の一部改正に伴い、たばこ税の税率の特例の見直しなど、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第67号「桑名市障害者総合相談支援センター運營業務委託事業者選定委員会条例の制定」につきましては、センターを1箇所増設するに当たり、最も適切な

事業者を公募型プロポーザル方式により選定を行う委員会を設置するため、条例を制定するものであります。

次に、議案第68号「市道の認定」につきましては、立田町地区で、城南河川防災ステーション整備に伴い、1路線を新規認定し、陽だまりの丘地区で、開発行為の完了に伴い、3路線を新規認定するものです。

以上、上程の各案件につきまして大要をご説明申し上げました。  
よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、報告1件について、ご説明申し上げます。

報告第15号「議決事件に該当しない契約の変更」につきましては、平成25年6月議会においてご報告しました「水道施設流量・残塩計増設及び末端多項目水質監視装置設置工事」に係る契約金額を増額変更いたしましたので、ご報告申し上げます。

以上、ご報告申し上げます。  
よろしくご了承賜りますよう、お願い申し上げます。

